

2023年度

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、回復している。

●2023年度 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや良い

個人消費



やや良い

建設関連



ふつう

観光関連



やや良い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや良い

2023年度の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに2年連続で前年度を上回りました。百貨店売上高は、2年連続で前年度を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、2年連続で前年度を上回りました。中古車販売台数は3年ぶりに前年度を上回りました。

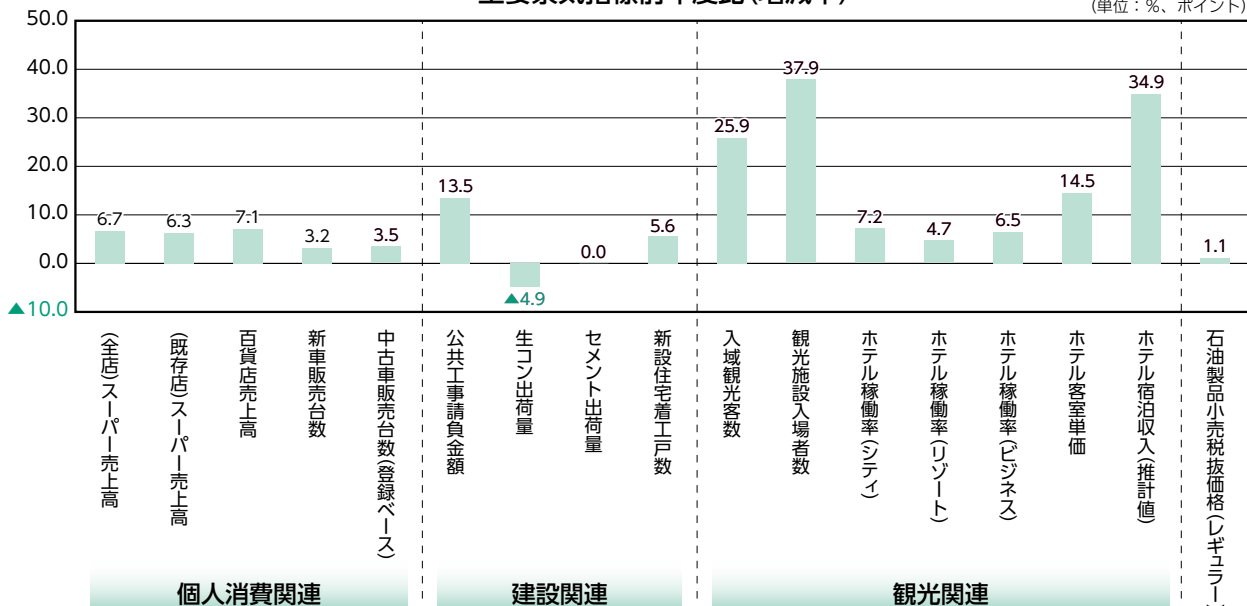
建設関連では、公共工事請負金額は3年連続で前年度を上回りました。新設住宅着工戸数は2年連続で前年度を上回り、建設資材である生コンは2年ぶりに前年度を下回り、セメントは前年度と同水準となりました。

観光関連では、入域観光客数は3年連続で前年度を上回り、観光施設入場者数も3年連続で前年度を上回りました。ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスの全てで前年度を上回りました。ホテル客室単価は3年連続で前年度を上回り、宿泊収入（推計値）も3年連続で上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は物価上昇の影響を受けながらも増加しています。建設関連は概ね堅調に推移し、観光関連は回復していることなどから、「**県内景況は、回復している。**」と景気判断を引き上げました。

主要景気指標前年度比(増減率)

(単位：％、ポイント)





個人消費



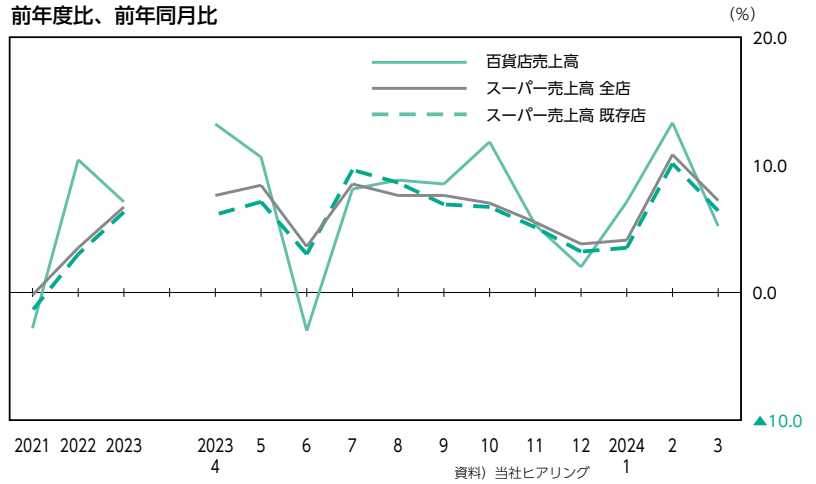
(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年度を上回る。百貨店売上高は前年度を上回る。

2023年度の個人消費関連は、スーパー売上高が「**全店ベース（前年比6.7%増）**」は、新型コロナウイルスの5類移行後の来店客数増加や物価高騰に伴う単価の上昇などにより前年度を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品（同7.0%増）」は、来客数の増加や物価高騰の影響などにより前年度を上回りました。「衣料品（同5.3%増）」は新型コロナウイルスの5類移行に伴う外出需要の高まりなどにより前年度を上回りました。「家庭用品（同6.8%増）」は前年度を上回りました。

「**既存店ベース（同6.3%増）**」は、前年度を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品（同6.5%増）」は、来店客数の増加や物価高騰による単価の上昇などにより前年度を上回りました。「衣料品（同5.4%増）」は、新型コロナウイルスの5類移行による外出需要の高まりなどにより、前年度を上回りました。「家庭用品（同6.2%増）」は、前年同月を上回りました。

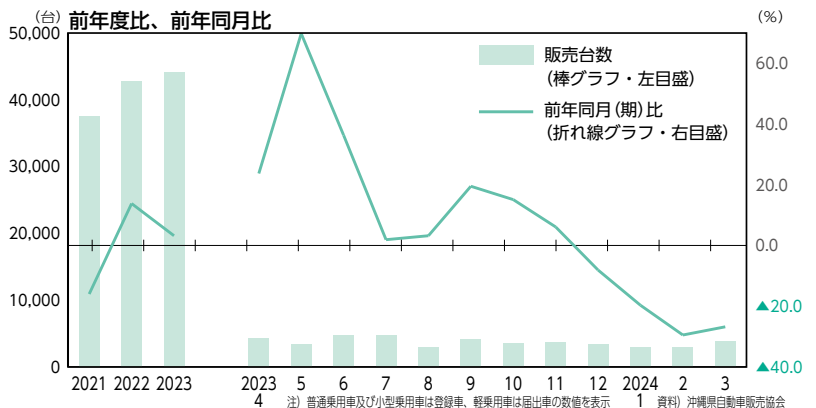
百貨店売上高は、新型コロナウイルスの5類移行による来客数の増加やインバウンドの回復などにより前年度を上回りました（同7.1%増）。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品（同6.3%増）」は来店客数増加や外出機会の増加による売り上げ伸長などにより前年度を上回りました。「雑貨（同8.7%増）」は、インバウンドの回復などにより前年同月を上回りました。「食料品（同9.1%増）」は、物価高の影響や催事企画の好調などにより前年度を上回りました。



② 新車販売台数…新車販売台数は、前年度を上回る。

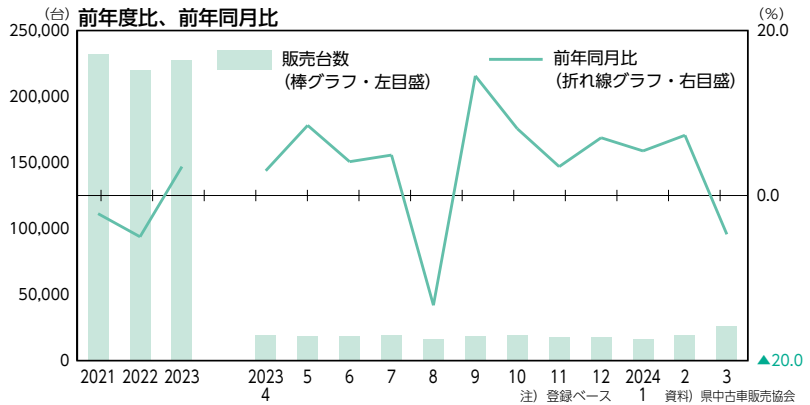
新車販売台数は、前年度の供給制限の反動やレンタカー需要の増加などにより、全体で44,131台（同3.2%増）と、前年度を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同36.1%増）」、「軽乗用車（同4.8%増）」は、前年度を上回りました。「小型乗用車（同12.2%減）」は、前年同期を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



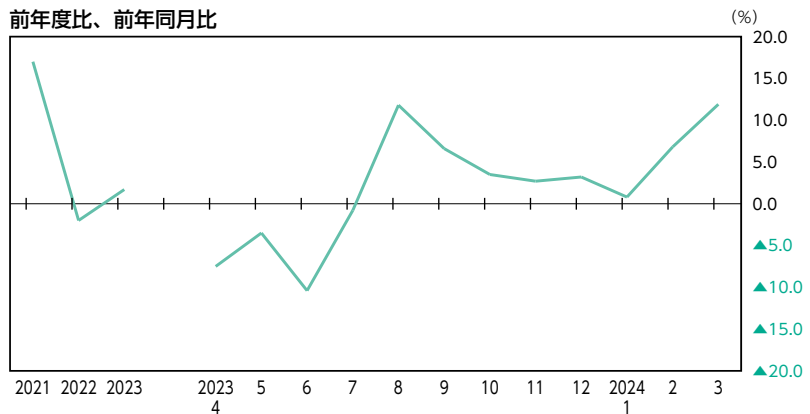
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年度を上回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で227,888台（同3.5%増）となり、前年度を上回りました。車種別では、「乗用車（同5.9%増）」、「軽自動車（同1.9%増）」ともに、前年度を上回りました。



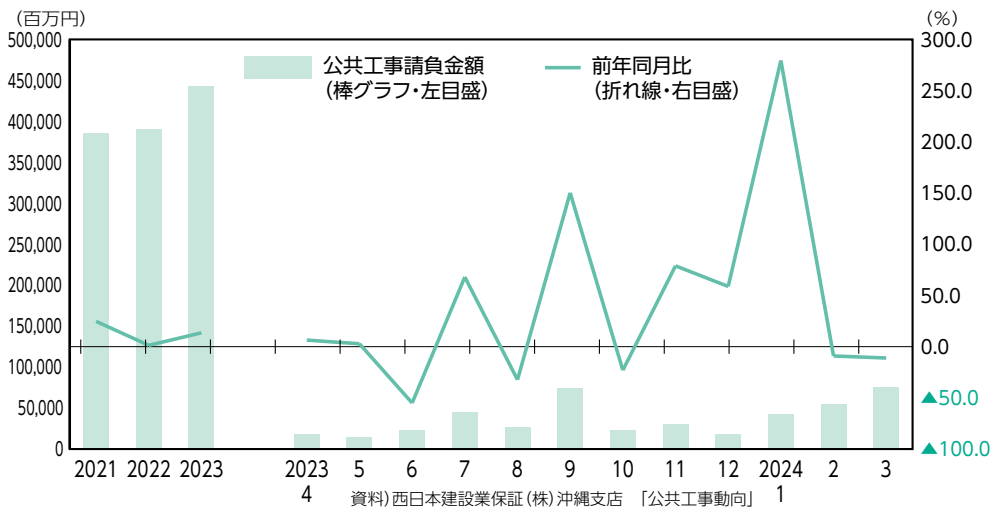
④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年度を上回る。

2023年度の大型家電専門店販売額は前年度を上回りました。



建設関連 (ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年度を上回る。

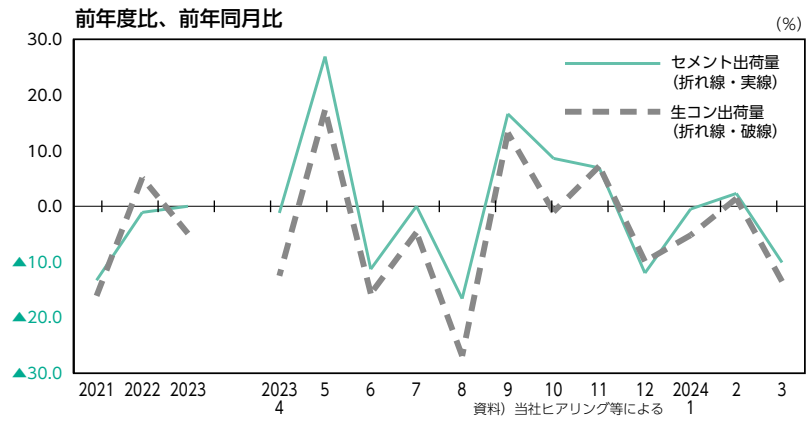


2023年度の公共工事請負金額は、前年度比13.5%増の4,420億2,400万円となりました。発注者別で見ると、「国(同18.9%増)」、「市町村(同15.5%増)」、「沖縄県(同12.5%増)」、「その他の公共的団体(同37.9%増)」は前年度を上回りました。一方、「独立行政法人等(同30.9%減)」は前年度を下回りました。



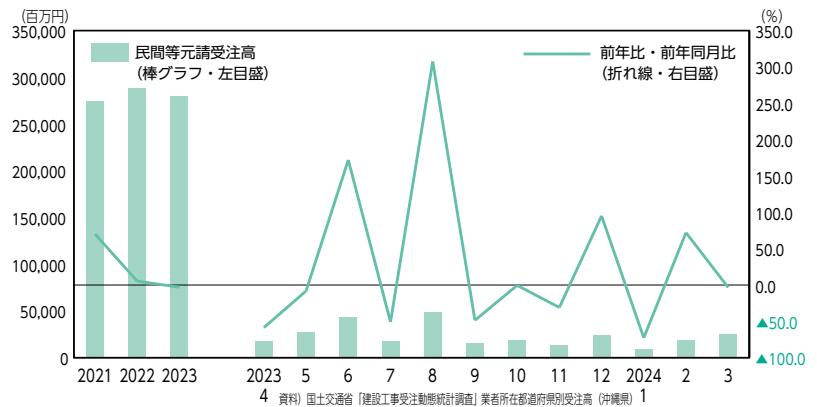
② 建設資材…生コンは前年度を下回り、セメントは同水準。

2023年度の**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は4.9%減と前年度を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷は前年度より9.7%下回り、民間工事向け出荷は2.3%下回りました。**セメント**出荷量は前年度と同水準となりました。



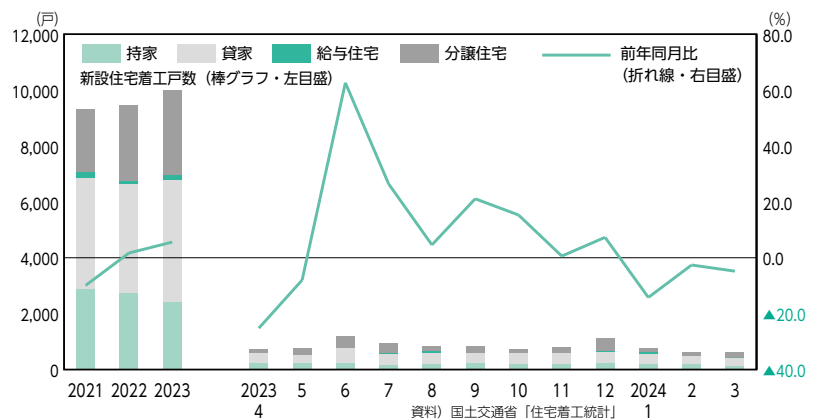
③ 【参考】民間等元請受注…民間等からの元請受注高は前年度を下回る。

2023年度の**民間等からの元請受注高**は前年度を3.0%下回りました。



④ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年度を上回る。

2023年度の**新設住宅着工戸数**は、全体で10,007戸となり5.6%増と前年度を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家 (同11.5%増)」、「分譲住宅 (同12.0%増)」、「給与住宅 (同74.7%増)」は前年度を上回りました。一方、「持家 (同11.5%減)」は前年度を下回りました。

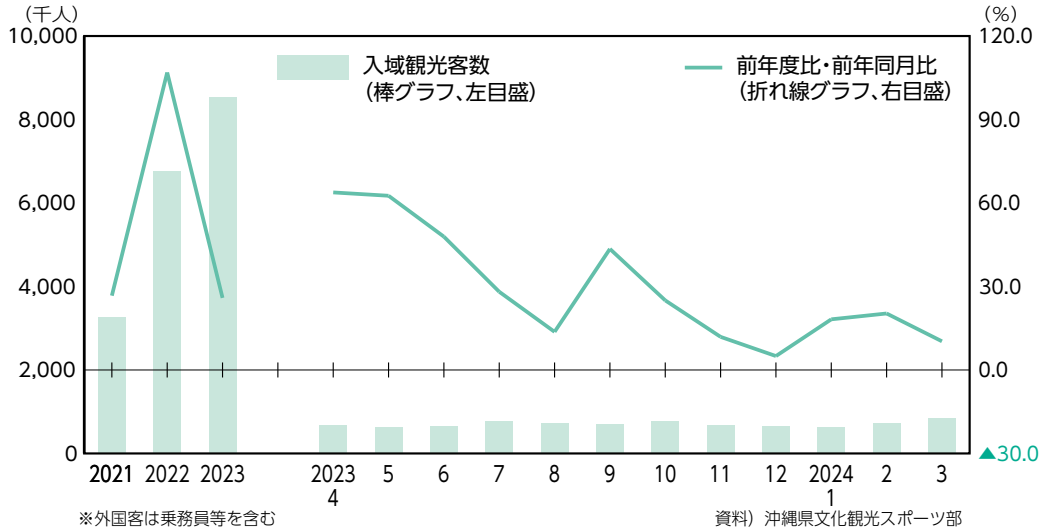


観光関連

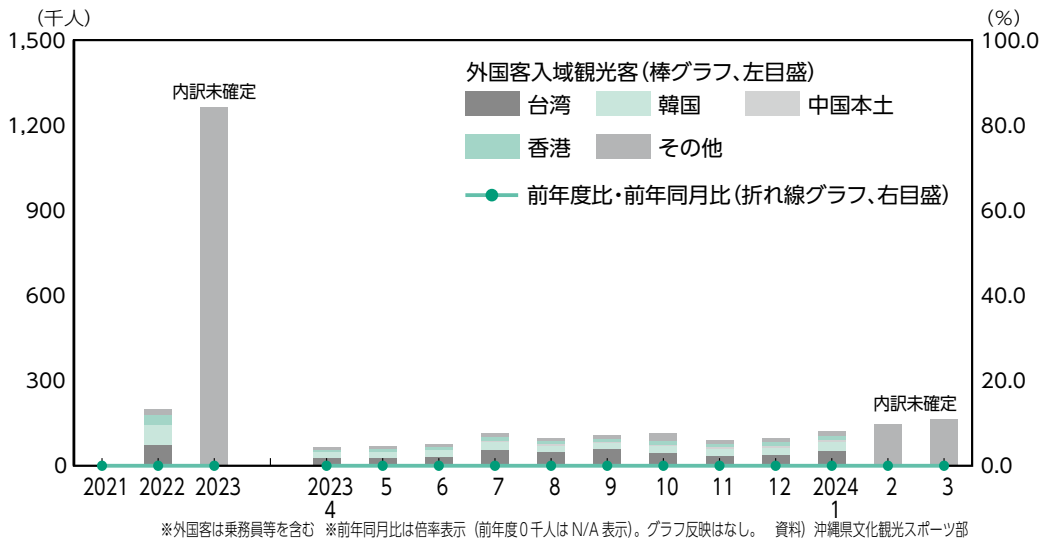


(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年度を上回る。



外国客 入域観光客数…前年度を上回る。

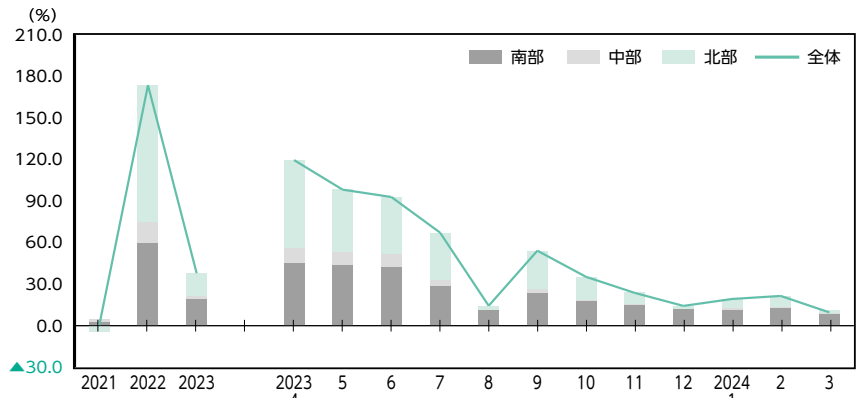


2023年度の**入域観光客数**は、853.2万人(前年度比25.9%増)となり、前年度を上回りました。内訳をみると国内客は全国旅行支援の実施などから726.94万人(同10.6%増)と、過去最多となりました。外国客は航空路線やクルーズ船の再開などから1,263.5千人となりました(6.3倍)。



② 観光施設入場者数…前年度を上回る。

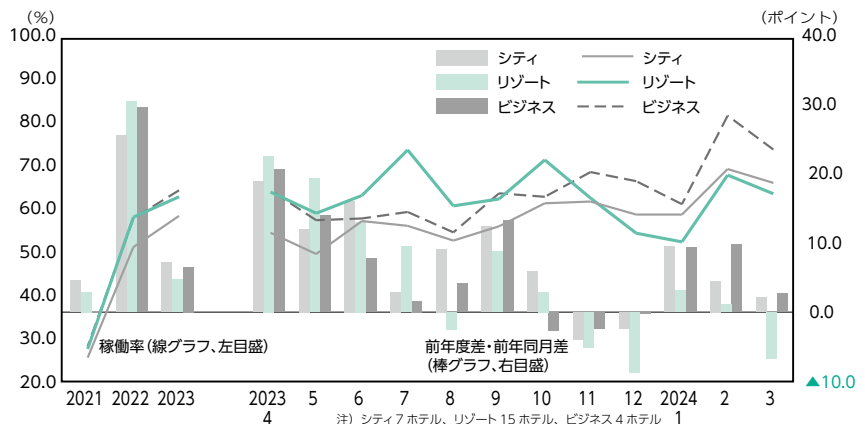
観光施設入場者数は、全体では前年度比37.9%増加となりました。全国旅行支援の実施や外国人観光客の増加などにより、入場者数は回復しつつあります。地域別では、北部にある観光施設が同28.9%増、南部が同56.7%増、中部が同25.2%増となりました。



※調査対象施設数=南部 6、中部 5、北部 4 施設 ※グラフは全体の寄与度を表示。※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。 ※棒グラフは各地域の寄与度を示している 資料) 当社ヒアリング

③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルの全てで前年度を上回る。

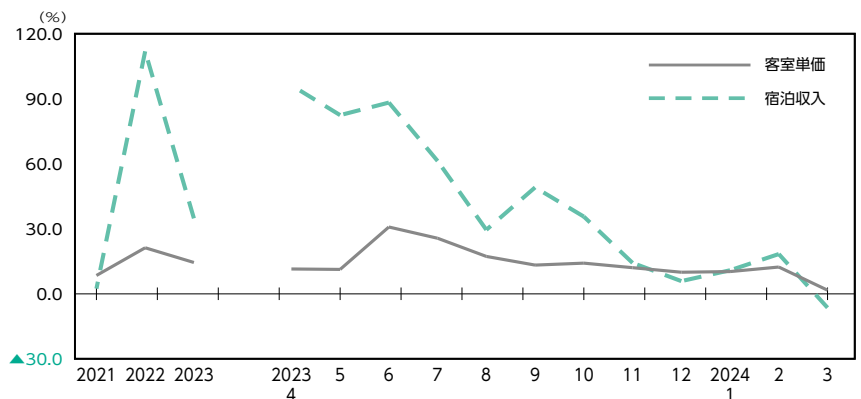
2023年度の県内ホテル稼働率は、シティホテルが58.2%と前年度差7.2ポイント増加、リゾートホテルが62.6%と同4.7ポイント増加、ビジネスホテルが64.1%と同6.5ポイント増加しました。



注) シティホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル ※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。 資料) 当社ヒアリング

④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年度を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価 (シティ&リゾート) は前年度比14.5%増と前年度を上回り、宿泊収入も同34.9%増と前年度を上回りました。客室単価は、需要回復や物価上昇などにより上昇しています。



※対象施設数:22施設(シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く ※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計) ※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする 資料) 当社ヒアリング



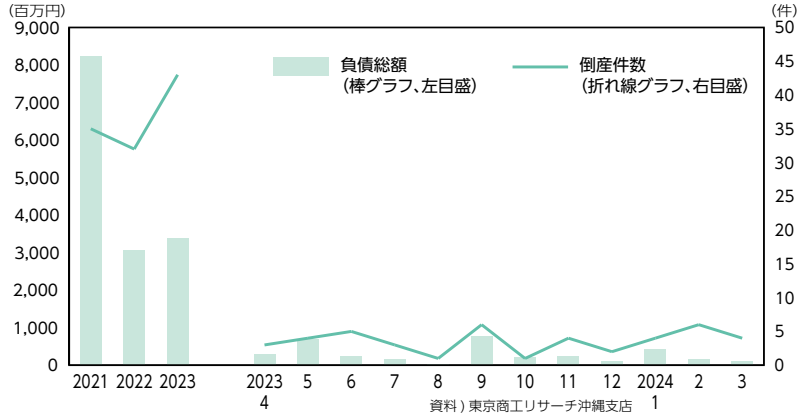
企業倒産



(やや良い)

① 企業倒産…件数、負債総額ともに前年度を上回る。

2023年度の**企業倒産件数**は、43件（うち大口倒産（負債総額1億円以上10億円未満）は12件）となり、前年度より34.4%上回りました。**負債総額**は33億8,100万円となり、前年度より10.5%上回りました。



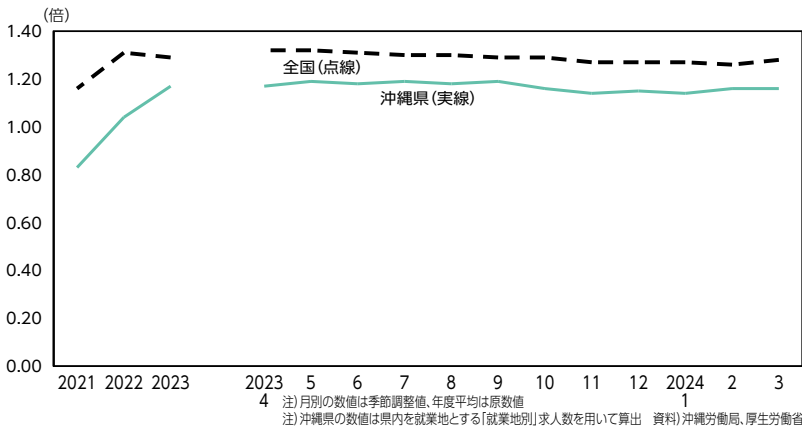
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄は前年度より上昇、全国は低下。

2023年度の**雇用状況**は、月間有効求人数（年度平均）は前年度比4.4%増の33,546人に対して、月間有効求職者数（同上）は前年度比6.5%減の28,756人となり、**有効求人倍率（同上）**は1.17倍と、前年度より0.13ポイント上昇しました。



② 完全失業率…沖縄、全国はともに前年度と同水準。

2023年度の**完全失業率（年度平均）**は、3.2%となり前年度と同水準となりました。

